

富山県薬業史 資料集成

目次

刊行のことば

まえがき

例言

I 幕末期

一 行財政

一 明和二・八	薬種役銀・同締役人等申渡書	一	
二 明和三・二	反魂丹口錢取立役申渡書	一	
三 文化五・九	薬種屋株立申渡書	一	
四 文政五・九	御国・他国売薬場所人々名前書上帳	二	
五 (弘化元)・二	反魂丹方、產物方付属の心得方申渡書	二	
六	弘化元	反魂丹方上縦出納簿	三
七 弘化三	反魂丹役所雜費・給料等書上	一〇	
八 弘化四・六	射水売薬人名・場所先・脚敷書上	三	
九 (嘉永元)・三	反魂丹場所売買の節、壱厘上納申渡覚書	一	
一〇 嘉永三・二	薬種会所新設につき薬種取扱心得方申渡	一	
一一	弘化元	反魂丹役所雜費・給料等書上	一〇
一二	弘化三	反魂丹役所雜費・給料等書上	一〇
一二	弘化四・六	射水売薬人名・場所先・脚敷書上	三
一二	弘化五・九	薬種屋株立申渡書	一
一二	文政五・九	御国・他国売薬場所人々名前書上帳	二
一二	(弘化元)・二	反魂丹方、產物方付属の心得方申渡書	二

書.....	六
二 嘉永三・三 高岡町売薬商人等株立運上申付書.....	元
三 素永四・六 高岡町薬種屋、株仲間以外の薬種屋禁止 嘆願書.....	元
三 安政元・六 算用場、他国出売薬役銀上納方申渡書.....	三
四 安政元・閏七 高岡薬種屋仲間、売薬役銀輕減方願書.....	三
五 安政六・八 反魂丹頼母子方、勘定所取扱の中渡書.....	三
六 慶応二・三 薬種上締の給料受取り覚書.....	三
七 (年不詳) 反魂丹役所設置につき締方申渡書.....	三
一 生 産	
一八 (寛政八)・九 熊買上値段値上の上申書.....	四
一九 天保六・一 薬種取締り願書.....	三
二〇 天保六・一 東岩瀬上野屋源七等、生薬買入問屋立方 仕法書.....	三
二一 天保六・一 立山麓の生薬と村々書上.....	三
二二 天保七・四 東岩瀬村に薬草問屋設立反対願書.....	四
二三 (安政三)・五 無株者の薬種捌方取締り嘆願書.....	四
二四 文久三・三 射水郡薬種仕法書.....	四
二五 元治元・三 薬種搗屋株壳渡証文.....	四
二六 慶応元・二 薬種仕法大綱.....	四
三 流 通	
二七 天明四・寛政八 (1) 懸 場	
二八 寛政四・三 懸場所帳面壳渡証文.....	四
二九 永文化三・嘉 東水橋売薬懸場帳借入及び売買高覚書.....	四
三〇 文政五・四 懸場所帳面壳渡証文.....	四
三一 (文政七) 頼母子取当り見合証文.....	四
三二 文政三・三 薬種株壳渡証文.....	四
三三 天保一・四 懸場所帳面壳券控.....	四
三四 天保三・二 懸場所帳面壳渡証文.....	四
三五 天保四・二 懸場所帳面壳渡証文.....	四
三六 天保四・八 懸場所帳面壳渡証文.....	四
三七 天保五・六 売子一人脚を添え、懸場所帳面壳渡証文	四

三	天保六・八 懸場所鑑札担保の借用証文	六
三	嘉永三・二 懸場所帳面壳渡手付証文	六
四〇	嘉永三・二 頬母子取当り請合証文	三
四一	嘉永三・三 懸場所帳面壳渡添証文	三
四二	嘉永五・三 懸場所帳面壳渡仮証文	三
四三	嘉永五・四 懸場所帳面壳渡証文	畜
四四	安政五・三 藥種株壳渡証文	畜
四五	安政五・三 薬種株壳渡定書	畜
四五	文久元・三 懸場所帳面壳渡定書	畜
四五	文久元・三 壳藥他國出元人付脚札讓替願書	七〇
四五	文久二・十 懸場所帳面壳渡証文	七一
四五	文久三・十 懸場所帳面買入証文	七一
四五	慶應元・九 懸場所帳面担保の借用証文	七一
二	慶応二・九 頬母子取当り出金請合証文	七一
三	(年不詳) 懸場所帳面壳渡し後の違約一札	七一
(2)	行商一般	
二	寛保二・四 往来切手受合	七一
二	寛政三・三 反魂丹の反古包紙一件	七一
二	寛政三・三 小倉藩壳藥免許帳	七一
二	文政三・十二 小倉藩壳藥免許帳	七一
二	文政三・十二 射水郡壳藥方仕法帳	八
二	天保三・三 小倉藩壳藥許可の庄屋宛触書	六
二	天保五・三 検校壳藥詰合証文	八
二	天保五・三 壳藥品増し代替の熊本国産墨元捌方一札	八
二	弘化四・明 飛驒国境通過壳藥商人の出身地と壳藥荷	八
二	嘉永三・二 懸場所帳面預り証文	九
二	(嘉永三)・八 越中壳藥人、薩摩藩製藥方合藥壳捌方願	九
二	嘉永四・六 水上屋清二郎名義、石見諸仕入内訛書上	九
二	(安政二)・十二 薩摩藩における壳藥差止解除一件	九
二	(安政三)・九 越中富山藥種屋權七、小倉藩壳藥免許喰	九
二	小倉藩壳藥免許觸書	九
二	天保元・九 射水郡壳藥方仕法帳	八
二	天保三・三 検校壳藥詰合証文	八
二	天保五・三 壳藥品増し代替の熊本国産墨元捌方一札	八
二	弘化四・明 飛驒国境通過壳藥商人の出身地と壳藥荷	八
二	嘉永三・二 懸場所帳面預り証文	九
二	(嘉永三)・八 越中壳藥人、薩摩藩製藥方合藥壳捌方願	九
二	嘉永四・六 水上屋清二郎名義、石見諸仕入内訛書上	九
二	(安政二)・十二 薩摩藩における壳藥差止解除一件	九
二	(安政三)・九 越中富山藥種屋權七、小倉藩壳藥免許喰	九

六 安政三	越中富山薬種屋權七、小倉藩領篠崎八幡 神社寄進	六	登 (年不詳)	鵜浦兵吉船積送り状	三
七 安政四・三 八 安政五・四 九 安政五・三	新川壳藥人、出雲大社神札壳弘方願書 仙台藩壳藥願方一件	一〇〇	六 (年不詳)	紙屋佐兵衛船積送り状	三
一〇 安政五・三	高岡町会所発行の壳藥行商鑑札	一〇三	八 (年不詳)	旅先にて病氣のため帰国延期願	三
一一 万延元・三	壳藥仕法紛争一件	一〇五	九 (年不詳)		
一二 文久元・二	薬種屋株譲請方願書	一〇六	一〇 四 經 営		
一三 文久三・五	小倉藩壳藥免許証書	一〇七	一一 享保二・一	薬種屋中田家家訓	一
一四 元治元・四	検校壳藥取替し証文	一〇九	一二 文政九・一	壳藥奉公人請合証文	一
一五 元治元・十	越中・能登薬種商壳株書上	一〇九	一三 天保元・三	壳藥壳子一人譲替願書	一
一六 老慶応元・一	壳藥版画摺值段定覚書	一一五	一四 天保二・五	壳藥奉公人請合証文	一
一七 老慶応元・三	検校壳藥仕入引請証文	一一五	一五 天保二・一	壳藥奉公人請合証文	一
一八 老慶応二・三	検校壳藥請合証文	一二六	一六 天保三・四	壳藥奉公人請合証文	一
一九 老慶応二・六	壳藥方作法帳	一二七	一七 豊嘉永四・五	壳藥奉公人違約一札	一
二〇 豊嘉永六・九	上新川郡内壳藥人脚數書上	一二七	一八 豊嘉永四・五	壳藥奉公人請合証文	一
二一 仲間取締議定書印帳	旅出奉公人請合証文	一二七	一九 元治元・五	壳藥奉公人請合証文	一
二二 豊嘉永二・七	福岡行越中壳藥人名書上	一二七	二〇 慶応元・八	福岡行越中壳藥人名書上	一
二三 (慶応二・八) 二四 明治三	壳藥値段協定一札	一二七	二五 慶応元・九	水橋壳藥人旅先等書上	一
二六 (年不詳)	壳藥品注文覚	一二七	二七 (年不詳)		
二八 (年不詳)	水橋壳藥人旅先等書上	一二七	二九 (年不詳)		

五 団体・仲間

丸 寛政三・三	反魂丹場所連中定書帳	[元]	達書	[西]
〔〇〕文化三・八 ～古	仙台における諸費用、割符留	[元]	(嘉永三)・九 富山壳薬人、琉球入付方許可達書	[西]
〔〇〕文政元・五	薩摩組仲間規約	[元]	〔〇〕嘉永四・三 高岡町肝煎、薬種屋仲間規定書	[西]
〔〇〕文政七・六	富山・高岡・射水三仲間役金覚	[元]	〔〇〕嘉永五・四 関東行配薬商人定書	[西]
〔〇〕文政三・六	仙台壳薬三仲間定書	[元]	〔〇〕文久三・二 上総・下総壳薬向寄仲間示談、仕入貯金	[西]
〔〇〕文政三・七	大坂為替等取組納得印形状	[元]	融通講定書帳	[元]
〔五〕(嘉永三)・九	富山壳薬人、薩摩閑外四外城入付方許可			
II 行 財 政				
〔一〇〕明治元・五	富山藩発行の往来切手	[元]	明治四 壳薬免許願	[西]
〔一〕明治三・五	高岡壳薬吟味役、壳崩れ等防止のため商 法局へ上申	[元]	明治五・八 壳薬官許状の返上	[西]
〔三〕明治三・十	富山民政局、諸族禁止令、但し壳薬人株 存続	[元]	明治五・九 富山壳薬人税、藩札にて上納願	[西]
〔一〕明治三・十三	壳薬取締規則制定	[元]	明治五・十二 壳薬掛・壳薬総代人公選届	[西]
〔一〕明治四・五	富山藩民政掛発行の壳薬免状	[元]	(明治六)・ 以前 軍医頭松本順に富山壳薬の状況報告	[元]
〔五〕明治四	大学東校、壳薬免許状雛形の規定	[元]	明治六・四 反魂丹税金上納帳	[元]
〔三〕明治七・二			明治六・三 大学東校による壳薬取締り廃止布告	[元]
			明治六・二 調達金の年賦償還措置につき願	[元]

〔三〕 明治七・四 反魂丹場所売買に関する納税申告書	〔三〕	〔四〕 (明治五) 税金受負法案	〔五〕
〔三〕 明治七・六 反魂丹方、不正品取扱等取締令	〔三〕	〔五〕 売薬行商税規則草案	〔五〕
〔三〕 明治七・八 医制公布	〔三〕	〔五〕 (明治五) 売薬税則につき建白	〔五〕
〔三〕 明治七・十 県権令、管下正副区長に夢想・靈薬等の取締り布達	〔三〕	〔五〕 明治六・四 売薬税則につき再建白	〔五〕
〔三〕 明治八・一 新規売薬出願者の不許可願	〔三〕	〔五〕 明治六・六 売薬印紙貼用につき伺・回答	〔五〕
〔三〕 明治八・五 医制の一部改正	〔三〕	〔五〕 (明治六・六) 売薬印紙売捌帳	〔五〕
〔三〕 明治九・四 売薬營業鑑札交付心得	〔三〕	〔五〕 (明治六・七) 薬品遞送につき県令宛各府県へ照会願	〔五〕
〔三〕 明治九・四 總稅規則第二号布達	〔三〕	〔五〕 (明治六・八) 売薬印紙税につき射水・高岡の売薬業者歎願	〔五〕
〔三〕 明治九・四 売薬県稅につき願	〔三〕	〔五〕 (明治六・九) 薬剤送還につき伺	〔五〕
〔三〕 明治九・十 分病院創立獻金同	〔三〕	〔五〕 (明治七・二) 売薬税検査規則布達	〔五〕
〔三〕 明治十一 売薬規則による売薬税制定	〔三〕	〔五〕 (明治七・四) 売薬印紙税反対の陳情	〔五〕
〔三〕 明治十五 県権令、売薬結社禁止の通達	〔三〕	〔五〕 (明治七・七) 売薬營業並請賣行商手続布達	〔五〕
〔三〕 明治十五 売薬受売並行商取扱手続改正	〔三〕	〔五〕 (明治七・七) 売薬印紙湯請売並行商手続改正	〔五〕
〔三〕 明治十五 売薬行商廢業の届出書式	〔三〕	〔五〕 (明治七・九) 売薬税検査手続布達	〔五〕
〔三〕 明治十五 売薬印紙税規則布告	〔三〕	〔五〕 (明治六・六) 製薬免許手続制定	〔五〕
〔三〕 明治十五・三 売薬印紙貼用につき伺・回答	〔三〕	〔五〕 (明治九・二) 藥種商營業規則	〔五〕
〔三〕 (明治十五) 税金受負法の要領	〔三〕	〔五〕 (明治九・三) 阿片払下手続	〔五〕

[六] 明治十九・六 日本薬局方公布	[國]	[三] 明治三・三 阿片法公布	[堯]
[堯] 明治十九・七 売薬印紙交換規則制定	[國]	[七] 明治三十一・一 売薬印紙稅の廃止運動	[秀]
[秀] 明治十九・七 売薬印紙買入規則制定	[國]	[八] 明治三十三・二 売薬の利益と売薬印紙稅	[天]
[六] 明治三十・二 売薬毀却証明願取扱手続制定	[國]	[堀] 明治三十四・一 売薬稅法改正の請願	[秀]
[天] 明治三十・三 富山売薬商業会社の設立	[國]	[五] 明治三十五・二 売薬印紙稅廢止法案、委員會可決	[天]
[天] 明治三十・四 還送売薬の検査	[國]	[八] 明治三十六・三 知事、藥事事項改善の指示	[天]
[秀] 明治三十・三 売薬營業並請売行商取締規則制定	[國]	[三] 明治三十七・四 縣警部長の売薬行商人取締り訓示	[堷]
[堷] 明治三十・一 藥舗試驗規則制定	[國]	[八] 明治三十七・十 売薬青年会、売薬増稅反対運動	[堷]
[堷] 明治三十二・一 藥種商業取締規則制定	[國]	[八] 明治三十七・一 売薬業者の非常特別稅賦課	[天]
[堷] 明治三十二・一 売薬印紙稅規則心得制定	[國]	[八] 明治三十七・五 売薬税法公布	[堷]
[秀] 明治三十三・三 藥品當業並藥品取扱規則公布	[國]	[八] 明治三十八・一 滑川町売薬業者、所得金額決定に對し意見上申	[堷]
[充] 明治三十三・二 藥種商及び製藥者取締規則制定	[國]	[六] 明治三十八・二 売薬稅法施行規則公布	[堷]
[堷] 明治三十三・六 売薬印紙交換規則取扱手續制定	[國]	[六] 明治三十九・二 富山市内売薬業者の市稅負担額	[堷]
[三] 明治三十四・三 売薬鑑札の交付	[國]	[六] 明治四十・九 滑川町売薬業者、所得金額決定に對し意見上申	[堷]
[三] 明治三十七・一 売薬印紙交換心得制定	[堷]		
[三] 明治三十八・四 売薬印紙稅と戻稅	[堷]		
[三] 明治三十八・五 国稅に関する願届出心得改正追加	[堷]		
[堷] 明治三十九・二 売薬印紙貼用廢止の請願	[堷]		
[五] 明治四十一・三 売薬稅法改正	[堷]		
[五] 明治四十二・三 売薬稅法改正	[堷]		

一五 大正三・三	壳藥法案と関連して出願書増加.....	毛毛	決定.....	二七
一四 大正三・三	壳藥法公布.....	毛毛	全国壳藥業団体連合会、壳藥税廃止請願	二九
一三 大正三・九	壳藥法施行細則.....	二〇	二九
一二 大正三・九	郡市役所の壳藥行商事項取扱い.....	二一	大正三・七 富山市会、壳藥税全廃に対する意見書.....	二九
一一 大正五・二	薬価高騰と药品不足の救済を政府へ上申	二二	二〇 大正三・十 壳藥印紙税廃止に伴う戻税金額.....	二九
一〇 大正六・三	壳藥行商税廃止意見書.....	二三	二一 大正三・十一 壳藥印紙税の廃止に店舗業者反対.....	二九
九 大正七・二	県壳藥同業組合、壳藥印紙税全廃陳情.....	二四	二二 大正三・十一 壳藥税、既貼印紙戻税の運動とその経過	二九
八 大正七・三	壳藥行商税額の調査検討.....	二五	二九
七 大正十・六	薬草調査会委員、幹事の任命.....	二六	二四 昭和元・二 壳藥税廃止につき医師団反対.....	二九
六 大正十	壳藥印紙交換高.....	二七	二五 昭和元・二 壳藥印紙税廃止後の富山壳藥の動向.....	二九
五 大正十一・四	県壳藥有志者、壳藥印紙税全廃同盟結成	二八	二六 昭和元・三 營業税と營業収益税との新旧比較.....	二九
四 大正十一・七	二九	二七 昭和元・三 壳藥印紙税廃止と本舗業者の対策.....	二九
三 大正三・三	壳藥税法改正.....	二九	二八 昭和元・三 壳藥税法廃止.....	二九
二 大正三・四	薬剤師法公布.....	二九	二九 昭和元・四 壳藥稅法廃止後の壳藥品改良と定価維持	二九
一 大正三・六	内務省、医者の薬価に干渉.....	二九	二九 昭和元・五 壳藥印紙税廃止後、漢藥の許可願增加.....	二九
〇 大正三・六	大蔵省税制調査幹事会、壳藥印紙税廃止	二九	二九 昭和元・五 薬剤師法施行細則.....	二九

三三	昭和元・十	壳薬偽造團検挙と富山壳薬の信用保持	三〇	三六	昭和七・四	県壳薬試験場規程	三四
三四	昭和一	県、壳薬試験場建設補助金交付決定	三一	三七	昭和七・八	壳薬行商鑑札に府県名記入の規定	三五
三五	昭和三・十三	壳薬試験場經營実施計画	三二	三八	昭和八・一	壳薬鑑札、県・国名記入の規定	三六
三六	昭和四・十	県壳薬批判会	三三	三九	昭和八・五	関西医師大会、壳薬税復活の決議	三五
三七	昭和五・一	日本医師会、壳薬印紙税復活運動	三八	四〇	昭和八・五	県壳薬団体協議会、関西医師大会決議の 不當を警告	三五
三八	昭和五・一	富山市壳薬行商人の新税反対運動	三九				
三九	昭和五・一	日本壳薬組合、壳薬印紙税の復活反対運動	三九				
一〇〇	昭和五・二	県壳薬法人協会、壳薬行商人使役税案に 反対	三九				
一一一	昭和五・三	内務省、壳薬行商人使役税に反対	一〇〇	一二一	昭和八・五	壳薬印紙税復活反対のため、各支部より 活反対の決議	一〇〇
一二二	昭和五・三	県壳薬同業組合の壳薬印紙税復活反対陳 情	一〇〇	一二二	昭和八・五	壳薬印紙税復活反対のため、各支部より 活反対の決議	一二一
一二三	昭和五・四	県薬剤師会、壳薬印紙税復活の反対請願 運動開始	一二一	一二三	昭和八・六	壳薬同業組合、関西医師会の壳薬印紙 税復活議反対	一二一
一二四	昭和六・十	県壳薬改良調査会、壳薬法規の改正請願	一二一	一二四	昭和八・七	県、壳薬配置税の新設計画	一二一
一二五	昭和七・一	壳薬部外品の課税	一二一	一二五	昭和九・一	県壳薬同業組合、大和壳薬同業組合決議 の通知	一二一
一二六	昭和九・五	壳薬製品原料の検査制度答申	一二一				

〔貿〕 昭和十一・一 売薬行商鑑札査閲料の改正.....	三七	よる指定者.....	三九
〔貿〕 昭和十・八 売薬公納金廃止、売薬配管税創設案.....	三七	医薬品及び衛生材料生産配給統制規則に よる譲渡先指定者.....	三九
〔貿〕 昭和十九 売薬公納金制度反対陳情.....	三七	医薬品及び衛生材料生産配給統制規則に よる生薬仲買人の指定者.....	三九
〔貿〕 昭和十・三 売薬行商人頭税の徵収決定.....	三七	三九
〔貿〕 昭和十・五 蔓相、売薬印紙税の復活否定.....	三七	三九
〔貿〕 昭和十・八 売薬公納金廃止.....	三七	売薬協定販売価格.....	三九
〔貿〕 昭和十・三 国民健康保険法公布.....	三七	三九
〔貿〕 昭和十・二 売薬その他定価明記品の価格表示.....	三七	価格統制による医療品・理化学器類の販 売価格.....	三九
〔貿〕 昭和十・二 売薬印紙税復活反対と臨時課税協力の檢 討.....	三七	三九
〔毫〕 昭和十・四 薬品切符制実施.....	三七	工業薬品の価格統制.....	三九
〔毫〕 昭和十・七 売薬の停止価格と丸停表示の陳情.....	三七	厚生省、売薬營業整備要綱の通達.....	三九
〔毫〕 昭和十・八 県元薬界、物価停止令協力申し合せ.....	三七	方名、銘柄、小売最高販売価格の統制.....	三九
〔毫〕 昭和十・八 生産・配給・懸場の統制.....	三七	三九
〔毫〕 昭和十・二 売薬配管箱の規格と価格.....	三七	薬事制度特別委員会、薬事制度改善方策 の答申.....	三九
〔毫〕 昭和十・三 学童用サントニン錠・ビサチン錠の販売 価格.....	三七	県元薬工業組合、取扱売薬決定通知.....	三九
〔毫〕 昭和十・三 医薬品及び衛生材料生産配給統制規則に よる指定者.....	三七	医薬品に新税賦課.....	三九
〔毫〕 昭和十・三 薬事法公布.....	三七	三九
〔毫〕 昭和九・四 県売薬試験場の廃止、薬業指導所と改称	三七	三九
〔毫〕 昭和九・五 医薬品及び衛生材料生産配給統制規則に よる譲渡先指定者.....	三七	三九

毛	昭和十九・四	県薬業指導所規程	三七
三九	昭和十九・三	工業薬品、医薬品の最高販売価格統制	五六
一九	昭和十九・六	菓苓収集の通達	三九
二〇	昭和二十・五	薬業関係施行細則廃止	四〇
二一	昭和二十・六	薬業指導所廃止	四五
二二	昭和二十・三	県、医薬品等配給要綱制定	四三
二三	昭和二十・七	薬事法公布	四五
二四	昭和二十・九	G H Q、米国薬事使節団の勧告書発表	四七
二五	昭和二十・十	県内初の薬事法違反	四一
二六	昭和二十・十	県薬業振興に関する請願書	四二
二七	昭和二十・四	県家庭薬配置監視員規程	四三
二八	昭和二十・七	県政会、県総合開発審議会に請願	四四
二九	昭和二十・三	医薬品配給規則廃止	四五
三〇	昭和二七・七	県薬事研究所設置条例	四七
三一	昭和二七・八	第一次県総合開発計画の薬業対策	四五
三二	昭和二七・一	県、家庭薬近代化促進対策要綱の発表	四五
三三	昭和二七・四	県総合開発計画の薬業対策費	四六
		家庭薬業計画	四五
		県薬事審議会規程制定	四五
		県薬事審議会発足	四五
		家庭薬配置員就業規則制定	四五
		昭和三十・三 国民健康保険法改正	四五
		昭和三十・三 県薬事審議会、初の専門委員会開催	四五
		昭和三十・八 薬事法公布	四五
		昭和三十・一 第二次県勢総合計画の薬業対策	四五
		昭和三十・三 県薬事審議会条例制定	四五
		昭和三十・二 製薬施設改善経費	四五
		昭和三十・十 県立薬業講習所規則制定	四五
		昭和三十・十 県薬事審議会条例改正	四五
		昭和三九・七 新潟震災罹災配置販売業者に対する救濟	四五
		昭和三九・五 県、家庭薬配置連絡指導員設置要綱制定	四六
		昭和三九・三 県薬務課、薬務行政要覧発表	四五
		昭和三九・六 第一次県総合開発計画修正四ヵ年計画の 予算年度	四五

III 生 産

三一三 明治一	必要処方、よろづ控帳	四九	三一三 大正八・三	堀川薬草園の状況	五〇
三一四 明治三・三	薬種採種手伝人及び土洗人申付書	五〇	三一七 大正九・一	国営薬草園の設置請願	五〇
三一五 明治四	薬品仕入値	五〇	三一八 大正十・六	薬草調査会	五〇
三一六 明治五・一	西洋薬方授与願	五一	三一九 大正十・八	砺波般若野の薬草	五〇
三一七 明治七・三	薬方売買明細書	五一	三二〇 大正十一・三	県薬草栽培者数	五〇
三一八 明治七・八	壳藥仕入借覧	五一	三二一 大正吉・四	薬草園敷地拡張計画	五〇
三一九 明治三八・四	壳藥検査願	五一	三二二 昭和二・六	年次別製造高	五〇
三二〇 大正元～昭	特殊壳藥申請書	五七	三二三 昭和五・五	薬草栽培奨励	五九
三二一 和支			三二四 昭和五・六	県元薬原料の輸入と原料產地	五九
三二二 大正三・九	第一次世界大戦と薬品の大暴騰	五九	三二五 昭和五・七	壳藥原料確保のため内地品採用勧奨	五九
三二三 大正五・二	药品直輸入計画	五九	三二六 昭和六・三	糖衣機の導入	五九
三二四 大正五・四	薬草栽培	五九	三二七 昭和八	林間薬草栽培と保護試験	五九
三二五 大正七・七	県薬草の產出狀況	五六	三二八 昭和八	林間薬草の状況	五九
三二五 大正七・八	製造薬届出表	五六			

三九 昭和九	漢葉輸入高	一	三七 昭和二〇年度 県薬業界の原料生葉消費量	一
一〇 昭和十	県下自生の重要な薬草木	一	三八 昭和二一年 太陽紙器工業株式会社、配置箱開発	一
一一 昭和十一・九	丸衣に金箔使用廃止決定	一	三九 昭和二二年 ペニシリソ割配置販売に関する陳情書	一
一一 昭和十二・五	煎葉の布袋原料木綿配給の特免要請	一	四〇 昭和二三年 製葉施設改善費等調査	一
一二 昭和十二・十	壳葉原料の配給提案	一	一〇 昭和二七年 医薬品等製造業の許可更新	一
一二 昭和十二・十	原料減配断行	一	一一 昭和二八年 薬用植物栽培と生産採取状況	一
一二 昭和十三・二	壳葉原料の国家管理陳情	一	一二 昭和二九年 生葉使用状況	一
一六 昭和十三・二	壳葉原料配給問題	一	一三 昭和三十年 薬用植物栽培状況	一
一七 昭和十三・一	空地利用の薬草栽培	一	一四 昭和三十一年 生葉消費状況	一
一八 昭和十六	薬業と富山県薬壱工業会社	一		
一九 昭和十七・九	壳葉生産部門整備項目決定	一		
二〇 昭和十九・八	家庭薬処方整理実施要綱	一		
二一 昭和十九・七	薬草増産措置	一		
二二 昭和二十・十	終戦直後の壳葉対策懇談会	一		
二三 昭和二十・一	薬業と朝日印刷紙器株式会社	一		
二四 昭和二十・三	壳葉原料不足と薬草採取	一		
二五 昭和二二年 合成医薬品・生葉原料の県内需給状況	一			

IV 流 通

一 懸 場

三五 明治元・七	出金請合証文	三九 明治三七・六	壳業懸場帳面壳渡手金証書
三六 明治一・二	出金請合証文	四〇 明治三九・六	壳業懸場壳渡手付約定証書
三六 明治三・一	富山壳業人、一人足につき国札十五両宛 借用願	四一 明治三七・一	懸場壳業帳壳渡証
三九 明治三・一	壳業場所帳面壳券証文	四二 大正七・二	壳業帳簿仲貢組合取扱料値上
四〇 明治五・二	反魂丹壳券証文	四三 大正七・二	壳業得意家所有權壳渡証書
四一 明治六・十	懸場所帳面譲受一札	四四 昭和三・三	壳業懸場壳買契約証書
四一 明治六	懸場所帳面担保の借用証文	四五 昭和六・一	産業組合の懸場帳運用禁止
四五 明治十・七	懸場所帳面壳渡証書	四六 昭和九・七	法的財産としての懸場帳検討
四五 明治三・五	懸場所帳面壳渡手付証文	四七 昭和九・七	質權證明請求書
四五 明治三・六	懸場帳担保貸付	四八 昭和九・七	當座貯金預け約定書
四五 明治四・八	旅出壳子人規則請合証	四九 昭和九・七	金錢貸借契約証書付帶約定書
四五 明治五・三	精壽堂懸場書入証	五〇 昭和十・六	金錢貸借契約公正証書
四五 明治五・四	壳業懸場議受証	五一 昭和十・六	壳業懸場壳買手付金契約書

一五五	昭和十六・十 壳藥得意家所有權完渡証書	六三	融資陳情
一五六	昭和十九・一 県配置壳藥商業組合、一戸一袋の懸場整	六三	四〇九 昭和二年・三 県、設備改善資金一千万円預託
一五七	昭和二年・二 懸場帳担保の融資額	六三	四一〇 昭和二年・七 通産省、配置家庭藥製造業の中小企業設
一五八	昭和二年・三 懸場帳担保の金融狀況	六三	四一一 昭和二年・七 備近代化資金対象業種指定
一五九	昭和二年・四 縣製藥企業金融審議會結成	六三	四一二 昭和二年・六 藥業振興資金融資狀況
一六〇	昭和二年・五 縣藥業連合会取扱融資狀況	六三	四一三 昭和二年・四 藥業振興資金貸付要綱
一六一	昭和二年・六 共榮製藥業帳主会「北友会」	六三	四一四 昭和二年・六 藥業振興資金貸付要綱
一六二	昭和二年・七 県壳藥懸場取引業組合発足	六三	四一五 昭和二年・九 中小企業設備近代化資金貸付狀況
一六三	昭和二年・八 医藥品製造業に対する法適用存続要望	六三	四一六 昭和二年・九 中小企業設備近代化資金貸付狀況
一六四	昭和二年・九 伊勢湾台風被災帳主の特別融資措置陳情	六三	四一七 昭和二年・九 明治元・四 藥種荷船積送り狀
一六五	昭和二年・十 壳藥懸場取引業の県条例制定請願	六三	四一八 昭和二年・九 伊予今治壳藥改築所發行壳藥鑑札
一六六	昭和二年・十一 懸場財產保護育成の県条例制定のため事	六三	四一九 昭和二年・九 明治元・三 飛驒地方壳藥建議
一六七	昭和二年・十二 例提出	六三	四二〇 昭和二年・九 明治三・八 合藥商売の往来切手下付願
一六八	県藥業振興資金貸付金取扱要綱	六三	四二一 昭和二年・九 明治三 生藥價段覚
一六九	昭和二年・十三 県藥業連合会、家庭藥新表示記載の資金	六三	四二二 昭和二年・九 明治四・三 行商残り品等預り証文

四三	明治四・五	富山藩民政掛発行の売薬免状	六一	明治十・二	売薬荷物手数料受取覚書	八〇八
三四	明治四・六	富製丸難船一件	六二	明治十・七	売薬営業人總代の内務省衛生局宛免許願	八〇九
四五	明治四・八	富山藩発行の往来切手	六三	明治十・八	内務省衛生局へ免許願出の状況報告	八一〇
五六	明治四・八	富山藩発行の往来切手	六四	明治十・九	神徳丸仁郎右衛門船積送り状	八一一
五七	明治初期	売薬為替取組	六五	明治十・九	売薬営業免許鑑札	八一二
五六	明治初期	製剤免許	六六	明治十・十	売薬規則改め一札	八一二
四九	明治五・八	売薬為替取組	六七	明治十・十	賣龍丸船積送り状	八一二
五〇	(明治五)	小倉県等売薬行商寄留証	六八	明治十・十一	賣龍丸船積送り状	八一二
五二	明治五	売薬免許願	六九	明治十・十二	賣龍丸船積送り状	八一二
五三	明治六・三	都城県と薩摩藩の売薬差止	六一〇	明治十・三	売薬行商鑑札下付願	八一二
五三	明治六・三	軍医頭松本順、薬物検査と資生堂会社設立建白書	六一〇	明治十・三	売薬受免許可証	八一二
五三	明治六・三	売薬禁方願	六一〇	明治十・三	売薬受免願	八一二
五四	明治六・十	新川四郡売薬禁方、資生堂売薬授与願	六一〇	明治十・四	売薬懸揚帳面検査預り証書	八二〇
五五	明治八・二	宮崎県下合薬商免許可願	六一〇	明治十五・七	第一百二十三国立銀行の薬種関連記録	八二六
五六	明治八・九	宮崎県權令宛、売薬免許願	六一〇	明治十七・三	売薬受免許業届	八二八
五六	明治八・九	新川県下付の売薬販売者所持証書	六一〇	明治十七・八	売薬行商持參金約定証	八二九
五六	明治九・一	鹿児島県令宛、冥加金上納願	六一〇	明治十七・二	富山市薬種組合、薬種斤目の改正	八二九
五六	明治九・五	鹿児島県令宛、内務省免許売薬届提示	六一〇	明治十五・九	行商日記	八三〇

明治三十一年一月	壳薬関係日誌抜書	三六
明治三十一年二月・八月	壳薬懸場委託約定証	七四
明治三十一年七月・二月	虔脩六神丸大取次契約書	七四
明治三十一年七月・七月	壳薬懸場帳面受負純益約定証書	七四
明治三十一年七月・八月	行商人交替の得意先挨拶	七四
明治三十一年九月	富山電燈会社設立発起人	七四
明治三十一年九月	壳薬業出身者の電燈会社役員	七四
明治三十一年九月～昭和四年	壳薬商と大正繩・レンゲの伝播	七四
明治三十一年六月	壳薬業出身者の銀行役員	七四
明治三十一年六月	富山県壳薬実収額調べ	七四
明治三十一年六月	横山源之助の富山壳薬論	七四
明治三十一年一月	富山壳薬信用組合設立発起人会	七四
明治三十一年五月	壳薬懸場証明願	七四
明治三十一年七月	富山壳薬信用組合業務状況	七四
明治三十一年十一月	帳主、行商人の利益配分関係	七四
明治三十一年十一月	壳薬業者の業態	七四
明治二十四年九月	壳薬懸場行商持參請負契約証	七四
明治後期	壳薬資本と諸産業	七四
明治期	効能書	七五
明治～大正期	壳薬配置の定宿と廻り順	七五
明治～大正期	壳薬懸場巡回日数と定宿	七五
大正二年一月	富山壳薬業に関する新聞投稿	七五
大正二年九月	壳薬行商許可証	七五
大正三年	誇大広告と禁止事項	七五
大正五年九月	壳薬商違約につき功労金契約書	七五
大正五年五月	質権者の懸場帳引渡し請求訴訟例	七五
大正五年五月	高知県薬種壳薬同業組合、行商人の組合加入要求	七五
大正五年三月	行商人の高知県薬種壳薬同業組合加入除外願	七五
大正六年七月	薬種計量の統一	七五
大正六年九月	行商人の高知県薬種壳薬同業組合加入除外決定	七五
大正六年三月	富山商業會議所の物産陳列	七五
大正九年九月	出先県の壳薬組合、本県行商人の組合加入	七五

入要求	大正三・九	関東大震災に対し売薬品徵用	昭和八・三	県社会課、無医村など三十一カ村の売薬 配置決定
堺一	大正三・二	関東大震災と四方売薬の被害	堺六	各県救療事業に本県売薬指定
堺二	大正四・七	売薬定価引下げの決議声明	堺八	東本願寺の売薬販売
堺三	昭和元・五	売薬定価一部引下げ決議	堺六	県賣業連合会、誇大広告の例示
堺四	昭和元・三	富山売薬信用組合総會議案	堺九	県賣業改良調査会、日満博の県賣業試験 場公開等具体策検討
堺五	昭和二・三	売薬広告の増加	堺三	日満産業博覧会の売薬振興館
堺六	昭和四・二	精神薬問題、裁判所へ提訴	堺一〇	中国地方の県賣業担当地区決定
堺七	昭和四・五	精神薬問題、示談解決	堺三	四国地方の県賣業担当地区決定
堺八	昭和四・十	売薬展覽会開催	堺三	北海道・関東地方の県賣業担当地区決定
堺九	昭和五・七	富山商工會議所、本県元薬に対する希望 意見調査	堺三	五都府県元薬担当地区決定
堺一〇	昭和五	富山賣業の映画宣伝	堺三	東海・関東地方の県賣業担当地区決定
堺一一	昭和六・一	京都府中筋村役場の配置賣薬品返還申入れ	堺四	北海道の富山県ほか五都府県元薬担当地 区決定
堺一二	昭和六・五	売薬展覽会開催	堺六	配置担当地域案内
堺一三	昭和七・一	薬品計量の統一	堺七	配置担当地域決定証
堺一四	昭和七・三	富山賣業信用組合総會議案	堺八	一戸一袋制協力願
			堺九	終戦直後の一戸一袋制

三〇	昭和二・七	県壳葉行商復職期成同盟会設立	八四	三五	昭和二・四	懸賞付医薬品特免中止の厚生省通知	八三
三一	昭和二・七	家庭薬配置統制組合員への案内	八四	三六	昭和二・六	県家庭薬協会宣伝カー、関東路初巡回	八四
三三	昭和二・九	終戦後の行商自由化要求	八四	三七	昭和二・九	配置四県の陳情	八四
三四	昭和二・一	責任配置担当地域決定書	八四	三八	昭和二・九	農協の家庭薬配置に対する厚生省回答	八四
三五	昭和二・二	壳葉販売業者の登録	八四	三九	昭和二・四	配置家庭薬の標準最終価格決定	八四
三六	昭和二・七	医薬品信用保証組合設立陳情	八四	四〇	昭和二・九	県薬業連合会、農協家庭薬配置に関する意見	八四
三七	昭和二・七	新販売価格の協議	八四				
三八	昭和二・七	販売価格厳守と進物廃止決議	八四				
三九	昭和二・五	医薬品等の地元販売業者	八四				
四〇	昭和二・七・八	配置員の配置販売品目一覧表携行決定	八四				
四一	昭和二・七・九	北海道部会による適正価格販売と割引禁止	八四				
		止	八四				
四二	昭和二・八・十	富山県立滑川高校薬業科生徒の行商体験記録	八四				
四三	昭和二・八・十一	全購連と家庭薬配置	八四				
四四	昭和二・一	全購連の家庭薬生産、販売状況	八四				
四五	昭和二・一	北海道部会、紙風船等に自己マーク印の使用禁止	八四				

翌一 昭和三九	富山壳藥、北海道でテレビ宣伝.....	八一	翌一 昭和甲・二	配置薬輸送問題.....	八一
翌一 昭和甲・一	アンプル入り感冒薬の事故例.....	八一	翌一 昭和甲	壳藥の宣伝広告.....	八一
翌一 昭和甲・三	アンプル入り感冒薬自衛の損害補償要求	八一	翌一 昭和四二	家庭薬配置業者の体験記.....	八〇
翌一 昭和甲・六	厚生省、配置かぜ薬効能基準の各都道府 県通知.....	八一	翌一 昭和四三	家庭薬配置業の経営動向.....	八一
翌一 昭和甲	壳藥行商雇用契約書様式.....	八六	翌一 昭和四三	壳藥行商雇用契約書様式.....	八六
翌一 昭和甲	壳藥行商の中国巡索.....	九一	翌一 昭和四三	輸出壳藥方數と価格.....	九六
翌一 昭和甲・四	朝鮮壳藥行商旅券章.....	九一	翌一 昭和四三	県輸出壳藥同業組合発起.....	九六
翌一 昭和甲・七	廣貫堂の台湾壳藥.....	九一	翌一 昭和四三	国別輸出量と価格.....	九六
翌一 昭和甲・二	台湾壳藥とハワイ壳藥.....	九三	翌一 昭和四三	カナダの壳藥印紙貼用規則.....	九三
翌一 昭和甲・七	台湾行壳藥.....	九三	翌一 昭和四三	中国の日本壳藥.....	九三
翌一 昭和甲・七	ハワイの壳藥事情.....	九四	翌一 昭和四三	東南アジア向け輸出壳藥、化粧品改良注 意書.....	九三
翌一 昭和甲・三	ハワイの壳藥店.....	九六	翌一 昭和四三	明治四十年代 輸出壳藥從事者.....	九三
翌一 昭和甲・四	日露戦争と富山壳藥.....	九六	翌一 大正二・一	朝鮮總督府の壳藥移入販売許可証.....	九三
翌一 昭和甲・四	韓國壳藥觀察.....	九六			

毛七	大正二・十	朝鮮龍山向けの移出売薬明細	一一六	堯三	(年不詳)	朝鮮京城食料雜貨業者の売薬行商人斡旋
堀一	大正二・十	朝鮮總督府の売薬業者許可証	一一六	堀三	依頼	丸師売薬株式会社設立
堀九	大正三・四	朝鮮向け売薬移出承認書	一一六	堀四	昭和元・六	商工省への海外売薬品無償貸与方請願
堀〇	大正四・七	日貨排斥に関する意見書	一一六	堀五	昭和元・一	メキシコ売薬拡張案と現地事情
堀一	大正五・八	中国の売薬課税問題	一一六	堀六	昭和三・八	国際製薬株式会社設立
堀三	大正六・九	ハワイの日本売薬広告取締り	一一〇	堀七	昭和三・九	奉天売薬組合営業規則改正請願
堀三	大正六年度	輸出、移出高	一一〇	堀八	昭和三・十	関東府より売薬營業規則改正につき回答
堀四	大正七・九	シベリア輸出品取締り	一一一	堀九	昭和三・十一	
堀五	大正七・三	輸出売薬業者	一一一	堀一〇	昭和三・十二	
堀六	大正八・一	海外輸出売薬振興に関する協議会	一一三	堀一一	昭和三・十三	大阪・富山の業者、關稅法につき陳情
堀七	大正八・二	朝鮮売薬会社設立発起	一一三	堀一二	昭和四・三	国際製薬株式会社メキシコ支店設置
堀八	大正八・七	中国における日貨排斥と売薬業者救済陳情	一一三	堀一三	昭和八・五	滿蒙輸出組合の設立計画
堀九	大正九・十	アメリカ輸出売薬への注意事項	一一三	堀一四	昭和八・九	滿州に製薬会社創立準備
堀〇	大正十・七	ウラジオストックと朝鮮における売薬状況	一一三	堀一五	昭和九	海外売薬の届出
堀一	大正二	薬種店舗引揚げ補償の陳情	一一六	堀一六	昭和十四	満蒙売薬の進出企画
堀二	大正三	中國内戦と輸出売薬	一一〇	堀一七	昭和十二・一	奉天の廣貫堂製藥工場建設趣意書

六九 昭和一	滿州国向け売薬方名と包装	卷一	六九 昭和一・七	薩摩組の台湾行商表彰	卷九
六〇 昭和二・三	全躉連売薬の台湾進出と総督府取締り	卷一	六〇 昭和二・七	税関出張所の富山駅設置陳情書	卷九
六一 昭和三・三	売薬業者の中国進出と団体統制	卷一	六一 昭和三・九	北京廣貫堂の設立企画	卷一
六二 昭和三・五	東亜薬業公司の中国進出	卷一	六二 昭和三・九	大東亜薬品交易統制株式会社創立	卷一
六三 昭和三・七	売薬海外進出座談会	卷一	六三 昭和三・八	日泰薬品興業株式会社創立	卷一
六四 昭和三	中国の売薬状況	卷一	六四 昭和三・九	東南アジア進出回顧談	卷一
六五 昭和三・二	売薬輸入統制につき満州国政府へ陳情	卷一	六五 昭和三・五	富山市薬業貿易振興会規約	卷一
六六 昭和三・十	円ブロック向け輸出制限につき陳情	卷一	六六 昭和三・三	輸出医薬品包装意匠圖案展示会	1000
六七 昭和三・一	満州売薬最寄会の輸出制限撤廃運動	卷一	六七 昭和三・六	香港セールス日記	1001
六八 昭和三・三	満州医薬品輸入統制組合発足	卷一			

VI 経 営

一 扉 用

一〇 明治四・五	売薬行商人請合証文	1004	三一 明治三・六	売薬行商人請合証書	1005
一二 明治四・五	売薬行商人請合証文	1004	三二 明治六・二	売薬行商人の借用証	1005
一三 明治四・七	売薬行商人請合証書	1005	三三 明治五・五	売薬行商人請合証書	1010
一四 明治五・十	内務省の売薬雇用人取調書布達	1005	三四 大正三・四	売薬懸掛帳簿純益請負につき連帶約定証	1011

大正三・九	雇用契約証書	1013	昭和三五・八	最低賃金実施の通知	1036
大正八・三	売薬包装の褒賞と競技	1015	昭和三七・十	最低賃金改訂の検討	1036
大正八・四	請負売薬懸場増加売渡証書	1016	昭和三六・三	最低賃金改正公示	1036
大正八・九	富山商業会議所の店員及び職工奨励規定		昭和三六・三	県商業界初の藍綬褒章受賞	1036
大正八・十三	第一回売薬行商人表彰	1016	昭和三九・十	最低賃金の改訂	1036
大正三・四	売薬懸場行商受引に関する契約証書	1014	昭和三九・十一	最低賃金改正公示	1036
(年不詳)	売薬行商人表彰規定	1016	昭和期	売薬行商人の配管販売先における受賞	1036
昭和七・一	行商人必携手帳	1016			
昭和三三・七	インフレと行商人の廃業	1010			
昭和三六・三	未成年者配置員に交付の身分証明書に関する照会	1011			
昭和三一・二	配管販売従事者の身分証票に関する照会	1011			
昭和三二・八	給与委員会の設置	1031			
昭和三三	富山県家庭薬配置員傷害共済補償規約	1033			
昭和三四・二	最低賃金に関する協定書	1034			
昭和三四・六	女子包装工の最低賃金協定	1036			
大正三・九	雇用契約証書	1013	明治三・八	廣貫堂の融資	1033
大正八・三	売薬包装の褒賞と競技	1015	明治三・六	廣貫堂の融資	1033
大正八・四	請負売薬懸場増加売渡証書	1016	明治三	廣貫堂規則制定	1033
大正八・九	富山商業会議所の店員及び職工奨励規定		明治三	廣貫堂の融資	1033
大正八・十三	第一回売薬行商人表彰	1016	明治三・七	廣貫堂越中組総代の辞令	1036
大正三・四	売薬懸場行商受引に関する契約証書	1014	明治三・十一	廣貫堂会議員辞令	1036
(年不詳)	売薬行商人表彰規定	1016	昭和三九・十	最低賃金の改訂	1036
昭和七・一	行商人必携手帳	1016	昭和三九・十一	最低賃金改正公示	1036
昭和三三・七	インフレと行商人の廃業	1010	昭和期	売薬行商人の配管販売先における受賞	1036
昭和三六・三	未成年者配置員に交付の身分証明書に関する照会	1011			
昭和三一・二	配管販売従事者の身分証票に関する照会	1011			
昭和三二・八	給与委員会の設置	1031			
昭和三三	富山県家庭薬配置員傷害共済補償規約	1033			
昭和三四・二	最低賃金に関する協定書	1034			
昭和三四・六	女子包装工の最低賃金協定	1036			

一 廣貫堂

卷一 明治六・一 廣貫堂会社設立請願	[9モ]	卷三 明治八・四 売薬会社設置勧奨	[9モ]
卷一 明治三二・三四 廣貫堂売薬事業	[10モ]	卷三 明治八・四 売薬取締会社設立綱領並条例綱目	[10モ]
卷一 明治三二・八 職階別給与規定と組總代選出人員	[10モ]	卷四 (明治八) 売薬会社社中申合規則	[10モ]
卷一 明治三二・九 職工取締規則	[10モ]	卷五 明治九・三 製薬会社設立までの調薬師、薬品取締願書	[10モ]
卷一 明治三二・一 廣貫堂売薬事業	[10モ]		
卷一 明治三二・三 廣貫堂売薬事業	[10モ]		
卷一 明治三二・四 廣貫堂刷新会趣意書	[10モ]		
卷一 明治三二・三 廣貫堂職工數	[10モ]		
卷一 明治三二・三 懸場所担保の保有証明願	[10モ]		
卷一 大正三・一 株式会社廣貫堂の創立	[10モ]		
卷一 大正三・二 廣貫堂の組織と販売系統	[10モ]		
卷一 昭和二・六 廣貫堂帳主会規程改正	[10モ]		
卷一 昭和二・六 懸場及び帳主の所属	[10モ]		
卷一 昭和六・十 廣貫堂の企業合併	[10モ]		
卷一 昭和五・十 廣貫堂の企業合併	[10モ]		
卷一 昭和三一・十 株式会社廣貫堂帳主会規則	[10モ]		
卷一 明治三二・一 厚生師天堂の業績	[10モ]		
卷一 明治三二・三 高岡市の売薬状況	[11モ]		

三 諸会社

堺 明治三十四年	富山薬剤株式会社新株公募	一一元	七二六 昭和三・一	富山薬剤会社懸場帳の名義変更請求	一五〇
七八〇 明治三十四・七	富山薬剤株式会社新株申込み	一一〇	七二七 昭和三・三	富山県壳藥統制株式会社の設立発起人	一五〇
七八一 明治三十五・一	富山壳藥株式会社創立総会	一一一	七二八 昭和三・一	富山県壳藥統制株式会社発起人会	一五〇
七八二 明治三十五・九	内外薬品株式会社の発足	一一三	七二九 昭和三・七	国民製藥株式会社発起人会	一五〇
七八三 明治三十六年度	壳藥会社の状況	一一三	七三〇 昭和三・七	師天堂等十三社の合同申合せ	一五〇
七八四 明治三十七・六	富山薬剤株式会社協定書	一一三	七三一 昭和三・八	壳藥会社の統合企画	一五〇
七八五 大正元・六	株式会社師天堂定款	一一四	七三二 昭和三・九	富山薬剤株式会社の統合	一五〇
七八六 大正元・三	株式会社茶木谷廣貫堂の発足	一二三	七三三 昭和三・九	県下壳藥会社の統合進行状況	一五〇
七八七 大正七・七	株式会社保壽堂の発足	一二三	七三四 昭和三・九	興亞製藥株式会社発起人会	一五〇
七八八 大正八・昭和元年度	配藥株式会社の生産額	一二三	七三五 昭和三・九	第一壳藥株式会社創立総会	一五〇
七八九 大正八・三	諸会社資本金	一二三	七三六 昭和三・十	大同製藥株式会社発足	一五〇
七八一〇 大正八	壳藥懸島福島県決算帳	一二三	七三七 昭和三・十	富山合同製藥株式会社発足	一五〇
七八一一大正十・一	壳藥会社の状況	一二三	七三八 昭和三・十	興亞製藥株式会社発足	一五〇
七八一三 大正十・五	株式会社日本精藥院設立	一二四	七三九 昭和三・十一	報國製藥株式会社発足	一五〇
七八一四 大正三・三	合名会社寺田青陽堂藥房支店設立	一二四	七八〇 昭和三・十二	富山県製藥株式会社発足	一五〇
七八一五 昭和六年度	滑川町壳藥業の状況	一二四	七八一 昭和三・十二	第一藥品化成株式会社発足	一五〇
七八一六 昭和三・五	越中薬業株式会社の富山壳藥株式会社合併	一二三	七八二 昭和三・十三	壳藥会社、十三社に統合	一五〇

吉田 昭和二・七

配置売薬共同販売の特殊性……………[三]

吉田 昭和七・八 統合十四社懇談会……………[三]

吉田 昭和九・一 日本試薬統制株式会社発足……………[三]

吉田 昭和五・五 第一売薬株式会社の第一薬品工業株式会社

吉田 昭和七・十 売薬統制会社の一県一社案……………[三]

吉田 昭和九・一 日本試薬統制株式会社発足……………[三]

吉田 昭和六・十 第一売薬株式会社の新興日本製薬株式会社

吉田 昭和五・五 第一薬品工業株式会社

吉田 昭和三・十 社合併……………[三]

吉田 昭和三・十 G H Q に対する共栄製薬株式会社の請書

吉田 昭和六・十一 日本売薬配給統制株式会社発足……………[三]

吉田 昭和三・八 医薬品製造業者名簿……………[三]

吉田 昭和六・十三 医薬品配給の戦時統制……………[三]

吉田 昭和三・一 医薬品製造業者名簿……………[三]

吉田 昭和六 昭和大・一 家庭薬製造業者の統合状況……………[三]

吉田 昭和三・一 医薬品製造業者名簿……………[三]

吉田 昭和六 昭和大・三 医薬品配給の戦時統制……………[三]

吉田 昭和三・一 医薬品製造業者名簿……………[三]

吉田 昭和六 昭和大・十 家庭薬製造業者の統合状況……………[三]

吉田 昭和三・一 医薬品製造業者名簿……………[三]

VII 団体・仲間

吉田 昭和四・五 薩摩組仲間示談定法書……………[三]	吉田 昭和三・一 中田町中心の売薬營業所三余堂創設……………[三]
吉田 昭和六・一 売薬商業改正規則……………[三]	吉田 昭和七 薩摩組諸事記簿……………[三]
吉田 昭和六・四 売薬方發名記……………[三]	吉田 昭和九・十 和歌山県売薬行商人申合規約……………[三]
吉田 昭和六・八 石見国行売薬最寄会宛約定取決の……………[三]	吉田 昭和三・一 県同業組合規約認可願……………[三]
吉田 昭和八・九 薩摩組仲間諸事留帳……………[三]	吉田 昭和三・一 県下売薬營業組合規約……………[三]
吉田 昭和九・一 薩摩組上納金の申請……………[三]	吉田 昭和三・一 売薬行商人組合規約……………[三]
吉田 昭和三・十 石見国向寄一統の売薬商業申合規則……………[三]	吉田 昭和三・一 売薬營業者仲間組合取締りの互選……………[三]

目 次

表一 明治三七・三 県壳薬業改良組合設立	〔二〇〕	表九 明治四二・昭 富山壳薬の組別と最寄会	〔三六〕
表二 明治三九・二 北信壳薬人同盟組合発足	〔二三〕	表一〇 明治三三・二 県壳薬同業組合、壳薬規則改正の請願	〔三〇〕
表三 〔八〕 明治三九・三 薩摩組組合員申合規約創設経過	〔六三〕	表一 〔一〕 明治四三・八 水橋壳薬俱楽部発足	〔三三〕
表四 明治三九・八 薩摩組組合員申合規約	〔五〕	表二 〔一〕 大正一・三 県壳薬同業組合、壳薬税法改正の請願	〔三三〕
表五 明治三九・一 富山壳薬同志会発足	〔五〕	表三 〔一〕 大正二・七 壳薬業者の商業会議所議員選挙権意見書	〔三五〕
表六 明治三九・一 富山壳薬同業組合設立認可	〔五〕		
表七 明治三九・昭 薩摩組内受賞者	〔五〕		
表八 明治三九・一 壳薬懸場等周旋業者	〔一〇〕		
表九 明治三九・八 富山壳薬行商會発足	〔一〇〕	表四 大正一・十 富山開催の第一回全国薬業大会決議事項	〔三六〕
表一〇 明治三九・九 富山壳薬協会発足	〔一〇〕		
表一一 明治三九・九 富山壳薬協会総会議決	〔一〇〕	表五 大正二・一 中新川郡壳薬同業連合会発足	〔三七〕
表一二 明治三九・八 富山壳薬業研究会発足	〔一〇〕	表六 大正二・二 県壳薬同業組合財政	〔三六〕
表一三 明治三九・七 壳薬甲辰会発足	〔一〇〕	表七 大正六・四 壳薬業者の富山商業会議所議員	〔三〇〕
表一四 明治三九・六 薩摩組組合員申合規約	〔一〇〕	表八 大正七・一 壳薬行商人取締細則	〔三三〕
表一五 明治三九・六 富山壳薬俱楽部発足	〔一〇〕	表九 大正十・五 県壳薬同業組合に対する県補助金交付	〔三三〕
表一六 〔和八〕 明治三九・昭 薩摩組組合員名簿	〔一〇〕	表一〇 大正三・三 富山壳薬行商會発足	〔三五〕
表一七 明治三九・九 県壳薬同業組合認可	〔一五〕	表一 〔一〕 大正三・六 薬友会発足	〔三五〕
表一八 明治四一・十 県壳薬同業組合各支部役員	〔一五〕	表二 〔一〕 大正三・二 輸入課税賄沢品中より麝香等壳薬原料撤	〔三五〕
		廃運動	
表一九 大正四・五 富山開催の第五回全國壳薬業団体連合大	〔一六〕		

会、壳葉税廢止決議.....	[三九]	八〇七 昭和六・八 壳葉試驗場の移管.....	[三九]
基 大正四・三 県壳葉同業組合、定款一部改正.....	[三九]	八〇八 昭和七・八 県壳葉最寄会連合会発足.....	[三九]
基 昭和元・四 県壳葉同業組合、壳葉最寄会設置規程法 定.....	[三九]	八〇九 昭和七・九 葉種商組合内の不正事件.....	[三九]
美 昭和二・一 壳葉法人協会、県壳葉同業組合經費の帳 主・行商人負担提唱.....	[三九]	八一〇 昭和七・三 銀札發行と支壳關係會社.....	[三九]
基 昭和三・十 壳葉業者の鐵道運賃建議.....	[三九]	八一一 昭和八・一 全国配置壳葉業團体連合会、臨時總會決 議.....	[三九]
英 昭和四・二 全國配置壳葉團體連合会提出の規約.....	[三九]	八一二 昭和九・二 県壳葉同業組合、最寄會則追加條項通 知.....	[三九]
堯 昭和四・十 葉業同志会発足.....	[三九]	八二三 昭和九・六 茨城県壳葉最寄会會則.....	[三九]
〇〇 県壳葉同業組合最寄会設置規程・準則.....	[三九]	八二四 昭和九・八 壳葉監視員設置.....	[三九]
〇一 昭和四・三 農民壳葉會社発足.....	[三九]	八二五 昭和九・十 第六回配壳大会、國民健康保險制度反対 の決議.....	[三九]
〇一 昭和五・十 サントニン購買組合発足.....	[三九]	八二六 昭和九・十一 全國壳葉業團體連合会臨時大會、國民健 康保險制度案反対の決議.....	[三九]
〇三 昭和五・十 壳葉原料購買利用組合設立認可.....	[三九]	八二七 昭和九・十三 全國配置壳葉最寄会中央會則.....	[三九]
〇四 昭和五・十一 壳葉改良研究会.....	[三九]	八二八 昭和十・三 富山葉種商組合、葉業商組合と改称.....	[三九]
〇五 昭和六・一 県壳葉改良調查会の目的、事業、各部門 担当者.....	[三九]	八二九 昭和十・八 寒江村葉盛會発足.....	[三九]
〇六 昭和六・七 壳葉革新同盟會発足、壳葉改良促進の陳 情.....	[三九]	八三〇 昭和十・十 第七回配壳大会、公當壳葉と全購連壳葉	

策の反対決議.....[二二一] 全国昭和五・三 県元薬同業組合需給対策委員会の請願書

八三 昭和二・五 第八回配売大会、売薬印紙税復活反対決議.....[二二二]

八三 昭和二・五 全国売薬業大会の県元薬同業組合提案.....[二二三]

八三 昭和二・五 県元薬最寄会連合会の状況.....[二二四]

八三 昭和二・七 全購連と官公営売薬に対する時局対策委員会設置.....[二二五]

八三 昭和二・七 県元薬同業組合、任意検査制等決議.....[二二六]

八三 昭和二・七 売薬時局対策同盟会発足.....[二二七]

八三 昭和二・七 富山県全北海道売薬同業会規約.....[二二八]

八三 昭和二・四 県元薬振興会会則.....[二二九]

八三 昭和二・四 县元薬工業組合事業案.....[二二九]

八三 昭和二・三 県元薬法人協会、工業組合結成試案.....[二三〇]

八三 昭和二・三 县壳薬工業組合結成.....[二三一]

八三 昭和二・七 第十九回全売大会の富山県提案.....[二三二]

八三 昭和二・七 県元薬工業組合設立認可.....[二三三]

八三 昭和二・十 第十九回全売大会の富山県提案.....[二三四]

八三 昭和二・十 県元薬工業組合連合会結成.....[二三五]

八三 昭和二・十一 県元薬工業組合連合会役員選挙.....[二三六]

八三 昭和二・十一 県元薬同業組合解散.....[二三七]

八三 昭和二・十二 日本配置元薬工業組合連合会設置.....[二三八]

八三 昭和二・十二 県元薬同業組合解消.....[二三九]

八三 昭和二・十三 県元薬工業組合の許可品目通知.....[二四〇]

八三 昭和二・十三 県元薬同業組合解消.....[二四一]

八三 昭和二・十四 県元薬工業組合の許可品目通知.....[二四二]

八三 昭和二・十四 県元薬同業組合解消.....[二四三]

八三 昭和二・十五 県元薬工業組合の許可品目通知.....[二四四]

八三 昭和二・十五 県元薬同業組合解消.....[二四五]

八三 昭和二・十六 県元薬工業組合の許可品目通知.....[二四五]

八三 昭和二・十六 県元薬同業組合解消.....[二四五]

八三 昭和二・十七 県元薬工業組合の許可品目通知.....[二四五]

八三 昭和二・十七 県元薬同業組合解消.....[二四五]

八〇	昭和九・五 富山軍需薬品協力部会発足	[四三]	八三	昭和十五・一 県薬政会規約発表	[四〇]
全一	昭和十三・一 一戸一袋制廃止と県家庭薬商業協同組合 結成	[四三]	八四	昭和十五・二 県家庭薬協同組合連合会の出資及び持分	[四三]
全二	昭和十三・二 県家庭薬配置商業協同組合設立発起	[四五]	八五	昭和十五・四 県家庭薬協同組合連合会発足	[四三]
全三	昭和十三・二 県家庭薬配置商業協同組合定款	[四六]	八六	昭和十五・三 県医薬品販売業組合発足	[四三]
全四	昭和十三・四 県配置家庭薬北海道部会会則	[四三]	八七	昭和十五・二 県薬品組合発足	[四三]
全五	昭和十三・六 富山薬業会発足	[四三]	八八	昭和十五・五 県家庭薬協同組合連合会の理事・監事選 出表及び組合出資口数	[四三]
全六	昭和十三・七 富山薬業青年倶楽部発足	[四三]	八九	昭和三七・三 北海道配置家庭薬協議会創立趣意書	[四三]
全七	昭和十三・九 県壳漿行商人同志会連合会発足	[四三]	九〇	昭和三七・四 県薬業会と県家庭薬協同組合連合会との 統合協議	[四三]
全八	昭和十三・二 県家庭薬配置商業協同組合、配置販売決 定通知	[四三]	九一	昭和三七・五 県薬業連合会発足と定款	[四三]
全九	昭和三七・八 県薬業会、定款変更と協同組合設置協議 の臨時総会	[四三]	九二	昭和三七・七 県薬政会、政治団体としての態度存続法 定	[四三]
全一〇	昭和三七・十 県薬品商工業協同組合発足	[四三]	九三	昭和三七・八 海老江薬業会発足	[四三]
全一一	昭和三七・十 日本製薬団体連合会の設立目的、事業、 団体名	[四三]	九四	昭和三七・七 常東薬業連合会結成	[四三]
全一二	昭和三九・六 小杉町薬業会発足	[四三]			
全一三	昭和三九・三 東砺波地区、薬業振興会組織	[四三]			

八九 昭和三一・四 家庭薬配置の登録済組合名	一四六	八三 昭和三四・八 医薬品配置販売業配置員指導員規程	一四三
八六 昭和三三・六 県薬業連合会、初の評議会にて薬事法改 正要望事項検討	一四六	八三 昭和三六・十 全国配置家庭薬協議会会則制定	一四四
八九 昭和三三・七 和合町四方地区の家庭薬協同組合成立事 情	一四七	八四 昭和三七・三 医薬品配置商業組合の結成決議	一四五
八〇 昭和三三・五 県薬業連合会、薬業信用組合設立促進の 請願	一四八	八五 昭和三六・五 県配置家庭薬商業組合発足	一四六
八一 昭和三三・七 第一薬品配置家庭薬協同組合発足	一四九	八六 昭和三六・五 県配置家庭薬商業組合定款	一四七
		八七 昭和三六・六 県医薬品小売商業組合発足	一四八
		八八 昭和三六・八 北海道配置家庭薬協議会、不廻り得意整 理の取扱い	一四九
八九 明治六 文部省へ寄宿学校設立請願	一五五	八九 明治四 富山県立薬業学校規則制定	一五六
八〇 明治三六・七 共立富山薬学校設立計画	一五五	九〇 明治四・四 富山県立薬業学校規則制定	一五六
八一 明治三・十 共立富山薬学校の市立移管	一五五	九一 明治四・四 富山県立薬業学校規則制定	一五六
八二 明治三三・五 富山市立富山薬業学校認可	一五五	九二 明治四・四 富山県立薬業学校規則制定	一五六
八三 明治三四・六 富山市立富山薬業学校の状況	一五六	九三 明治四・四 富山県立薬業学校規則制定	一五六
八四 明治三三・九 富山壳葉青年会制定の薬学講習部規則	一五七	九四 大正一・一 県立薬業専門学校の官立移管建議書	一五六
八五 明治三六・十 富山壳葉青年会の薬業講習開催	一五七	九五 大正六・九 県立薬業専門学校の官立移管に関する市、 県議会の動向	一五六

VIII 薬業教育

会可決.....	[四四]	り富山大学に包括.....	[四四]
九〇一 大正九・三 県立薬学専門学校の官立移管.....	[四五]	九〇六 昭和二七・三 県薬政会呉西支部、中学校に薬業課程設置陳情.....	[四五]
九〇二 昭和元・二 富山市立薬業学校設立請願.....	[四五]	九〇七 昭和二七・三 県下中学校における薬業教育.....	[四五]
九〇三 昭和元・二 市立薬業学校設立建議、富山市会採択.....	[五六]	九〇八 昭和二七・三 滑川高校薬業課程に関する世論調査表.....	[五六]
九〇四 昭和二・四 富山市立富山薬業学校開校.....	[五六]	九〇九 昭和二八・一 富山県薬業教育振興会会則(抄).....	[五六]
九〇五 昭和六・一 富山薬学専門学校の大学昇格運動.....	[五六]	九一〇 昭和二八・五 県呉西薬業俱楽部、呉西地区高等学校に	[五六]
九〇六 昭和六・七 薬業同志会、大学昇格運動の決議.....	[五六]	薬業課程設置の請願書.....	[五六]
九〇七 昭和十・十 東水橋実業学校に薬業部設置.....	[五六]	九一一 昭和二九・十 薬業課程生徒の実態.....	[五六]
九〇八 昭和十二・三 四方小学校に薬学科設置検討.....	[五六]	九一二 昭和二九・三 県薬業教育振興会、中学校に薬業課程設	[五六]
九〇九 昭和十三・三 衆議員建議委員会、富山薬学専門学校の	[五六]	置方文部省へ陳情.....	[五六]
九一〇 昭和十三・三 大学昇格を検討.....	[五六]	九一三 昭和二九・三 文部省、中学校學習指導要領の一部改正	[五六]
九一一 昭和十四・二 富山市会、市立薬業学校の昇格建議書を 可決.....	[五六]	九一四 昭和二九・五 文部省、中学校學習指導要領の一部改正	[五六]
九一二 昭和大・七 私立池田薬業青年学校廃止.....	[五六]	九一五 昭和二九・六 富山北部高校薬業科充実と上市・滑川高 校薬業科の存続動向.....	[五六]
九一三 昭和大・三 富山市立富山薬業学校の名称変更.....	[五六]		
九一四 昭和十三・七 富山市立富山化学工業学校の県移管議案 提出.....	[五六]		
九一五 昭和二四・五 富山薬学専門学校、国立学校設置法によ	[五六]		

IX 統計

編集を終えて

あとがき

編さん委員一覧

収録資料提供者・機関一覧

所収資料編年目録

索引